



おしゃべりかわらばん



優良子ども会の表彰を受けた将軍野東一丁目子ども会の相馬皓介さんと相馬みきさん

みんなに支えられています
子ども会は全部で20人。ラジオ体操、自衛隊での盆踊り大会など楽しい催しがあります。学校が違う人もいますが、上級生が下級生を引っ張ってくれるのでいい感じ。地域や家族に支えられていることにいつも感謝しています。

冬のおでかけは格別

あんまん、おしるこ、豚汁。寒い屋外で食べるから、温かさもおいしさもまた格別です。今頃になると子どもたちはいつも風邪ひきさん。念願かなって今年やっと一緒に冬まつりに来ることができました。家族で楽しめていいですね。



童っ子の雪まつりで山口春香ちゃんと幸太郎くんとお母さん(外旭川神田)

また、乗りたいなー

馬そりに乗ったのは今年が初めてです。子どもたちはとても貴重な体験をしたと思います。長い時間並んで待ったかいがありました。寒かったけどとっても楽しかったよ。お馬さんてすごいなー。どう、この風船かわいいでしょ。



童っ子の雪まつりに来ていた佐藤ゆいちゃん(右)、りさこちゃん姉妹

輝いて生きる2001年

障害のある人たちが、普通の生活を送れることを願って活動しています。3月18日(日)、「こんな生活できたらいいな」という講演会を県生涯学習センターで開きます。次の広報でもお知らせするので、みなさんおいでください。



障害児者の地域生活支援を考える秋田ネットワークのみなさん

まだまだ頑張ります!

市のオペレーターとして除雪をするのは今回が初めてです。今年の冬は例年になく雪が多くて、除雪作業がとても大変です。特に、玄関先や交差点の除雪には気がかかっています。これからも気を引き締め、最後まで頑張ります!



除雪車のオペレーターをしている木村政志さん(右)と伊藤学さん



新藤田の旭川河畔に集まる白鳥の群れ

秋田に来て二度目の冬。雪が多いですね。子どもたちと雪遊びを楽しんでいます(菊地直美 32歳・土崎)
S 中学校には学区内を清掃する日がある。ごみ袋にいっぱい入れて帰ってくる生徒さんに、「くろろうさん」と声をかけようとしたら、「こんにちは」と先にあいさつされた。とっさのことであわてた私は、「きれいになってよかったね」。みんな明るく学校の方に歩いていきました(浅原七恵子 68歳・將軍野)
南の方ではスイセン、桜と花の便りを聞き、早く秋田にも春が…と心待ちにしております(小林恭子 62歳・新屋)

係からひとこと
広報あきたが、今回で、めでたく一五〇〇号を迎えました。昭和二十六年に創刊して五十年。秋田市の時代を映す鏡みたいな存在です。取りあげる内容も、道路や施設の整備などハード的なものよりも、福祉や子育て、生涯学習といったソフト的なものが増えてきました。色も創刊当時は白黒。それから緑や青と変わって、今ではカラーのページもできました。
人間の生活と一緒に、心が豊かになる広報が必要とされているのかなと感じます。「何号になっても心を込めてつくろうね」と担当者一同、一五〇〇冊分の信頼関係を壊さないように…。(佐々木)

広報クイズ



5ページで紹介した佐藤さんご夫婦と史織ちゃん

1月26日号の当選者

前回のクイズの答えは、問1が「新世紀」、問2が「スノードリーム号」でした。

全問正解198通(応募総数199通)の中から、石川幹男さん(川尻みよし町)、井上睦子さん(泉中央六丁目)、小川精一さん(広面字釣瓶町)、小林清美さん(將軍野東四丁目)、佐々木充さん(泉中央三丁目)、佐藤雄二さん(旭川南町)、佐藤芳美さん(茨島六丁目)、柴田道子さん(土崎港南一丁目)、細井茜さん(仁井田新田二丁目)、安田満子さん(外旭川字大谷地)の10人のかたに図書券をお送りします。

2月の広報クイズは最終面です。よろしく!!